第２回習志野市学校指定品検討委員会議事録

１　開催日時　令和８年７月２２日（水）午前９時００分～午前１０時００分

２　開催場所　習志野市庁舎３階　大会議室Ａ

３　出席者

【委　員　長】	学校教育部長	上原　香
【副委員長】	学校教育部次長	大竹　博和
【委　　員】	教育総務課長	中野　充
	学校教育課長	奥秋　裕司
	学習指導課長	田中　紀代美
	児童生徒指導課	櫻井　智之
	市立小学校長会長	渡辺　雅和
	市立中学校長会長	野村　健一
	保護者代表	渡邊　恵美
	保護者代表	吉田　昌之
【事　務　局】	学校教育課　管理主事	中川　瞳

４　議題

（１）学校指定品検討委員会の進め方について

（２）市内中学校における制服の現状について

（３）市内中学校におけるかばん、上履きの現状について

（４）今後のスケジュールについて

５　会議資料

資料１　学校指定品の現状

資料２　第２回　習志野市学校指定品検討委員会　参考資料

資料３　学校指定品検討委員会スケジュール

６　議事内容

（１）学校指定品検討委員会の進め方について　　（略）

（２）市内中学校における制服の現状と課題について

＜市内中学校における制服の現状について＞　（略）

＜保護者アンケートについて＞制服を残すことに賛成だが、改善が求められている

（吉田委員）前回の会議で、幅広く保護者から意見をいただくためにアンケートをとりたいという話があったが、今日の会議では、制服を残すことを前提に意見を出すという認識でよいのか。

（奥秋委員）アンケートについては、先ほど事務局からの各学校の現状を踏まえ、もう改善に努めている学校もある。そのタイミングでアンケートを取るということについては、保護者の方も生徒の方も非常に混乱してしまうという意見が出たので、その意見を尊重し、この場でいろいろな御意見をいただきたいと考えている。

（吉田委員）保護者と生徒の希望を聞いていたら、きりがない話だと思う。この制服に関しては、正直聞いていたらきりがなく、どちらかというと、学校が自由にすることによって大変になりすぎる。結果的には子供たちにとってもデメリットになると思う。

（野村委員）一中から七中まであって、制服をいろいろ変えている部分があり、毎年、いろいろな学校がこのように制服を変えているということは、それぞれ中学校とすれば、制服が必要であるものだと考えているから、制服を残しているのだと思う。学校側からすると、制服が必要だと思っており、アンケートについても、先ほど吉田委員からあったようにアンケートをとれば、いろいろな意見が出てくると思う。だけれども、現状とすれば本当にやっと変わった学校や来年から変わる学校がある中で、非常にアンケートを取るのは難しいと思う。現状、制服の必要性は学校が決めることなので、この場で決めるものではないものだと思っている。

＜保護者負担軽減について＞保護者は無駄にならなければ購入したい

（渡邊委員）保護者からすると、その部分はそんなに実際負担に感じているかと言われると、そうでもない。入学前に一度にそろえる時に、大きなお金が必要になるので、購入のタイミングなどを段階的にして、お金も一度に払うのではなく、分けて払えるようになれば、大きな負担には感じないのではないか。

（吉田委員）制服を残すという前提だが、保護者からすると、無駄なものには払いたくないので、学校によっては年間を通して、ほとんど使わなかったものがあれば、それを見直してほしい。制服の内容の見直しは常にしてほしいと思っている。

＜女子のスラックスについて＞各学校で対応できている

（野村委員）現状、女子でスラックスを履いている生徒はいる。

（事務局）七中は、そもそも生地の色も違うので女子のためのスラックスが別である。そのため、女子のスラックスの値段と男子のスラックスの値段は、多少変わっている。

＜制服のリサイクルについて＞昔はやっていたが今は難しい

（事務局）七中は制服の回収をＰＴＡが行っている。二中はサカエヤ学生堂が、五中の学ランを回収し、リサイクルに回せるように確保するという話は聞いている。

（野村委員）昔は、卒業する時に学校に制服を寄付して、それをバザーとかで売っていたが、少なくなっている。制服を誰かが誰かにあげるという程度だと思う。

（渡邊委員）五中もＰＴＡで回収をやっているそうだが、出てくるサイズは、全部があるわけではない。保管場所や湿気の対応が難しくなっている。

＜制服は標準服か指定服か＞

（奥秋委員）制服があるなしのメリット・デメリットということに関しては、制服がなくなれば買わなくて済むので、お金が減ることもある。おそらく、制服をなくした場合や安全面の観点からも、自由服は難しいと考えている。

（田中委員）自分の高校の時に、基準服というのがあり、ブレザーとスカートだけ決まっていて、普段は何でもいい。ただ式典とか行事の時は、きちんとワイシャツでリボンをつけるという形であった。折衷案という感じであった。

（奥秋委員）標準服の明確な定義は、はっきりと調べてみないとわからないが、ブレザーやパンツを考えて、指定まではいかないものであろう。黒のジャケットとこれ、ワイシャツはこれというものがあるのではないかと予測している。

（野村委員）指定服というのはその学校のもので、何々中学校の制服はこれというもの。一般的にどこでも売っているのは標準服で、学ランはおそらく標準服でもわからないという

ものではないか。前回の会議で出たように、指定ではないところで買ってもいいということが少し安いものを選ぶという意味合いなのではないか。

（奥秋委員）一般に売っている3万、4万もするような上下ではなくて、高価でなければ価格が抑えられるのではないか。

（野村委員）標準服も指定服も、値段的にあまり変わらないと思う。

＜通学鞄と上履きについて＞

（事務局）横長の従来の鞄を使っていた一中と三中が、縦長の鞄への検討を始めている。上履きに関しては、3700円程度するもので安全基準を満たしたものを各学校で使用している。三中と五中が異なるが、五中は今、一・二・四・六・七中が使っているものに変更していく方向で動いているというのが現状である。

（野村委員）一中と三中は違うが、ほかの学校がどのメーカーかはわからない。

（櫻井委員）縦型のバックだと、機能性も高く、この値段で買っておくと、３年間保証もついている。家庭によっては、自由にすると家庭に負担を要する。

（渡邊委員）私も指定の鞄でいい。ランドセルの値段を考えたら、使う期間は違いますが、安いので負担は個人的には感じない。

＜上履きについて＞

（野村委員）上履きはみんな同じように、近づいている。

（渡邊委員）中学校はどれくらいで上履きを買い替えるのか。小学校は、学期ごとで買い替える。だからやはり安いからすぐに買い替えてしまう。

（野村委員）１年に１回買い替えるかどうかといったところではないか。

（櫻井委員）人にもよる。サイズが変わってしまったり、汚かったりするときに買い替えている。

＜次回までに行うことについて＞

（野村委員）ここで話しが出たことは、中学校の校長会でも、しっかり話し合いたい。こういう会議体があって、そういう意見があって、現状こうだ、一覧表はすごくいい表なので、他の校長先生方にも見せて、どうしていこうかという話は、次の会議でもお話しできると思うので、しっかり共有していきたい。